

ミネベアグループは、地球環境保全を経営上の重要なテーマのひとつとして位置づけており、1993年8月に「ミネベアの環境ビジョン」と「環境保全活動の基本方針」を制定しました。



## ミネベアの環境ビジョン

1993年8月26日制定  
2005年7月1日改定

ミネベアは、価値ある製品の製造を通して“ゆとり”と“豊かさ”を世界に提供すると共に、事業活動のすべての段階で環境への負荷の軽減と調和をはかり、快適な環境の維持・増進に貢献します。

### 環境保全活動の基本方針

#### 1. 環境に配慮した製品の開発、設計

「環境・健康・安全にとって有害な物質を含まない製品」、「エネルギー消費の少ない製品」、「3R(リデュース、リユース、リサイクル)を考慮した製品」等、開発、設計段階より環境に配慮した製品開発に努めます。

#### 2. 生産時の環境配慮

「環境・健康・安全にとって有害な物質を含まない副資材の使用」、「歩留まりの向上」、「廃棄物の削減」、「生産エネルギー量の削減」等、環境に配慮した生産工程の構築、改善に努めます。

#### 3. 流通時の環境配慮

「環境・健康・安全にとって有害な物質を含まない梱包資材」、「3R(リデュース、リユース、リサイクル)を考慮した梱包資材」の使用、「エネルギー消費、有害物質排出の少ない輸送手段の構築」に努めます。

#### 4. 国、地方自治体、周辺地域への環境配慮

国、地方自治体の環境法令、規制を遵守すると共に、立地する周辺地域の環境保全に努めます。

#### 5. 海外活動への環境配慮

海外での生産、流通については、当該国の環境法令、規制を遵守し、立地する周辺地域の環境保全に努めると共に、開発された環境保全技術を積極的に移転します。

#### 6. 環境監査

各工場、事業所の環境監査を定期的に行い、環境マネジメントシステムを維持、改善します。

#### 7. 社員への環境教育

社員への環境保全に関する教育を行い、職場及び家庭における環境保全活動を活発にします。

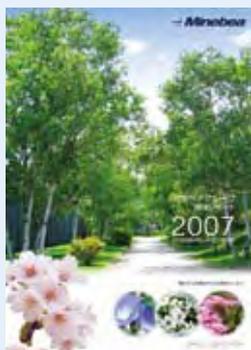
#### 8. 環境ビジョンの遵守

社員及びミネベア敷地内で活動を共にするすべての関係者は、この環境ビジョンに従い、環境に関する懸念を抱いた場合、直ちに管理者に報告します。  
報告を受けた管理者は、直ちにこれに対処します。

ミネベア株式会社  
代表取締役 社長執行役員  
山岸 孝行

### 全製造拠点での環境マネジメントシステムの推進

ミネベアグループは、全世界の製造拠点において環境マネジメントシステム「ISO14001」を取得し、地域に歓迎される企業活動を実践しています。また、2003年からは「環境レポート」を発行し、環境保全活動の実績や取り組み方針などについての情報の提供を行っています。

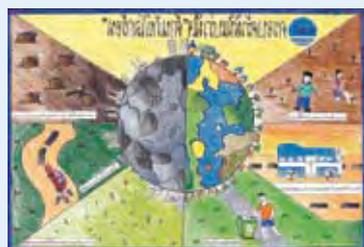


### 有害化学物質廃止・削減への積極的な取り組み

ミネベアグループは、1993年4月に、世界のベアリングメーカーに先駆けてグループ全ての工場における洗浄用特定フロン及びエタンの使用を全廃しました。以後も、有害化学物質使用の廃止、削減に着実に取り組んでいます。2008年3月には、技術本部マテリアル&プロセス開発部門マテリアルプロセスラボ(軽井沢)が、RoHS規制全6物質を試験・分析できる国際試験所認定「ISO/IEC 17025:2005」を取得しました。

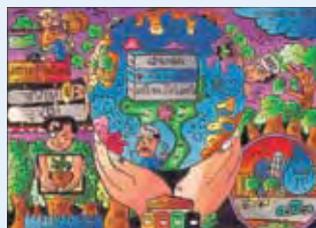
### グリーン調達徹底

ミネベアグループは、「ミネベアグループグリーン調達管理要領」(2004年7月初版発行)を発行し、お取引先様から納入いただく材料、部品について含有化学物質分析データの提出をお願いします。2007年12月に同調達要領を改訂(第3版)し、欧州における「RoHS指令」(2006年7月施行)や中国における「電子情報製品汚染制御管理弁法」(2007年1月施行)など、各国における法令の遵守に対応したグリーン調達を行っています。



### 2007年環境週間展示会を実施

タイミネベアの従業員の子供たちによる絵画コンテスト 最優秀作品です。  
題材 「ミネベアファミリーの心をつなげる」



### 地域での環境保全活動

ミネベアグループでは、各工場の周辺地域における環境保全活動を支援しています。グループ最大の製造拠点があるタイでは、省エネルギーや環境保全の取り組みが評価され、毎年数々の環境関連表彰を受賞しています。



「基金によって護岸工事が完了した河川」

また、中国では、上海ミネ

ベアが所在する淀山湖の水質保全を目的とした「上海ミネベア淀山湖環境保護基金」(1996年4月設立、基金総額1,100万元)を設立し、淀山湖とその周辺の環境保全活動を継続的に実施しています。

### CO<sub>2</sub>排出量削減への取り組み

ミネベアグループでは、製造拠点のCO<sub>2</sub>総排出量が2004年3月期に549,460トンありましたが、2008年3月期には2004年比16%減の475,623トンとなりました。一方、2004年3月期の連結売上高が2,686億円であったのに対して、2008年3月期の同売上高は3,344億円と24%増加しており、売上高が伸びているにも関わらず、CO<sub>2</sub>の削減に成功しています。省エネタイプの空調設備や製造設備を積極的に導入することによって、温室効果ガスの排出を削減できました。

